



2013.1 vol.20

# SEASON



ISSN 1349-3760

創価大学図書館 浅山 龍一館長『創価大学読書運動が私立大学図書館協会賞を受賞』… 2

特集 海外の資料に触れてみよう… 3

連載第3回（最終回）

CETL 山崎めぐみ准教授『みんなが学べる図書館に！』… 6

図書館からのお知らせ … 8

# 特集 海外の資料に触れてみよう！

↓国外の電子ジャーナルについて（館報 vol.16 より）

創価大学では海外のジャーナルサイト 18 種類と契約しており、約 2 万タイトルの学術雑誌の論文を読むことができます。海外のジャーナルサイトは、大きく以下の 3 種類に分けることができます。

## 「大学出版社系」

ケンブリッジ大学やオックスフォード大学、シカゴ大学や、アメリカ心理学会など大学出版社系のジャーナルサイトが 7 種類あり、タイトル数は約 650 タイトルになります。

CAMBRIDGE JOURNALS OXFORD JOURNALS

CHICAGO JOURNALS

## 「大手出版社系」

Elsevier 社や Wiley-Blackwell 社など大手出版社のサイトが 6 種類あり、タイトル数は約 5540 タイトルとなっています。

Library Connect

WILEY ONLINE LIBRARY

informaworld

## 「アグリゲータ系」

様々な出版社のものを代行でタイトル収集するアグリゲータ系のサイトには、「EBSCO」「JSTOR」「ProQuest」などがあり、タイトル数が 12000 タイトル、個々に電子ジャーナル購読をしているもの約 50 タイトルとなっています。

EBSCO

JSTOR

ProQuest

PUBLISHING TECHNOLOGY

## ※注意事項※

同一雑誌でも、複数のサイトで搭載されている場合があります。また、電子ジャーナルサイトに加入している契約出版社が刊行している、全ての雑誌を閲覧できるものと、特定のジャーナルの閲覧しかできないものがあります。既刊号から最新号まで全て読めるもの、過去 5 年程度から最新号まで読めるもの、過去 5 年以前の既刊号のみ読めるものなどタイトルによって異なることがありますので注意してください。

電子ジャーナルについては、館報 vol.16 でご紹介しましたが、今回は国内外のデータベースを使って海外の資料を活用する方法をご紹介します。

学部学科を問わず、語学学習や国際関連ニュース、学際誌などに触れる機会があると思います。ぜひ、データベースを活用して知見を広げてください！

（大学図書館で契約している有料のデータベースは、在学時しか使えません。）



主要のデータベースも、バナーから直接アクセスできます。

## データベース / リンク集

創価大学付属図書館のホームページから、国内外のさまざまなデータベースにアクセスすることができます。

創価大学付属図書館 TOP ページの「データベース」のバナー、または「資料を探す」をクリックしていただき、ページ最下部の「電子資料」中の「データベース」から、「データベース / リンク集」にアクセスすることができます。

## 創価大学読書運動が私立大学図書館協会賞を受賞

浅山龍一 創価大学図書館長



8月30日に私立大学図書館協会（私立大学の9割にあたる533大学が加盟）より創価大学読書運動（SOKA BOOK WAVE）が協会賞をいただいた。採択理由は創価大学の読書運動が「多様な工夫を施した図書館の読書活動であり、一般的なリテラシー教育よりも読書に重点をおいて事業を展開している」というものであった。

本学のこの運動は2004年に創立者が図書館に来館され、13項目にわたる「読書指針」をくださったことに端を発し、以来、SRPの学生と図書館員を中心となり、8年間持続してきたもの。学生が本を読んでその感想や書評を図書館に提出、それを院生や教員が添削し、評価点をつけ、よいものをWEB上に発表——という形で進められてきた。

運動への登録は毎年更新され、多い年には約2000名（学生数の4分の1）が登録し、8000本近くの感想文・書評が図書館に提出された。その効果もあり、本学図書館の利用者数は毎日平均約2000名、貸出数は約600冊、年平均ひとり22、3冊となり、これは国内ト

ップクラスの利用率となった。毎年出る新聞社の大学ランキングの図書館部門でもこのことは紹介されている。

授与式のあの懇談会では「どうしてこんなに多くの本を読むようになったのか」「8年間も続いたのはなぜか」といった質問が相次いだ。私は創立者の池田先生が機会あるたびに読書の重要性を語られ、スピーチでも対談の中でも古今東西の名作を紹介しながら話を進められること、自ら小説を書き、詩や随想を書き、歌を詠んで模範を示して下さっていること等を話した。どなたも頷いておられた。

私は御礼のあいさつの中でも述べたが、創価大学の建学の精神である「人間教育」「新文化建設」「平和を守る大学」というテーマは人類の英知の宝庫である書一名著一を読むことなしには成し遂げられないと思う。

創価大学図書館には若き池田先生を作ったともいえる「池田文庫」7万冊も配架されている。さあ、新年。本年も本を読みに読んで、自らの人間性を磨き、創立者の期待される人材に育っていこうではありませんか！

# 欧論文や 各國の学位論文・学術論文を活用！



「ProQuest Dissertations & Theses A&I」

1861 年から現在に至る各國の学位論文や学術論文を世界でも最も包括的に収録するコレクション。

「ProQuest Research Library」

4,000 タイトル以上の逐次刊行物へすぐにアクセスできます。学術誌、業界誌、雑誌など、一般的に需要度の高い多彩な 150 以上の学術主題から検索します。

「PsycARTICLES」

アメリカ心理学会 (American Psychological Association) 作成の心理学分野約 50 タイトルのデータベース。



「Academic Search Premier」

4,600 点を超える査読されたタイトルの全文を含め、8,500 を超える学術誌の全文を提供している。1975 年以前の 100 を超える学術誌の PDF ファイルが利用可能で、1,000 点を超えるタイトルの検索可能な引用参照が提供される。

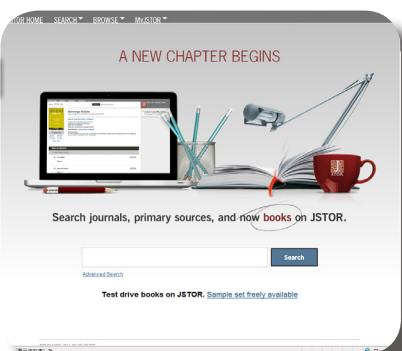
「Education Research Complete」

教育学関連分野の学術誌 750 誌 (ERIC、500 誌を含む) 以上の全文情報を収録。教育レポートや会議録などの全文情報も収録。分野は幼児教育から高等教育、多国語教育、保健体育などの専門的な教育、学校運営や関連する社会問題など幅広くカバー。

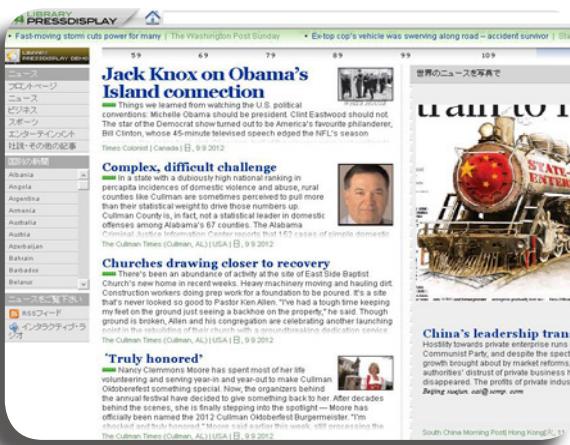


人文・自然・社会科学の創刊号からの英文を中心とする電子ジャーナルを全文で収録している。本学ではそのうち、約 640 タイトルにアクセス可能で、論文全文の検索・閲覧が可能。ただし最近（3 年～5 年の間に）刊行された巻号は収録していないのでご注意ください。

個人アカウントを設定すれば、My JSTOR に検索結果を保存することもできます。



# データベースを使って 海外の新聞・報道写真を読む・聞く・見る！



全世界の新聞（97 国、54 言語、2,200 紙以上）の 2 ヶ月前から当日までの分をインターネットで読むことが可能。

全紙の記事検索機能や記事を音声で読み上げる機能等があり、写真のみを一覧表示することも可能。

各国・各紙のニュース比較や、語学学習にも最適！



## 外国主要新聞

下記の新聞の記事全文を検索・閲覧することができる。単独検索も横断検索も可能。

New York Times、The Washington Times、Daily News of Los Angeles、The Times、Asia-Pacific News (The Korea Herald、Straits Times 等アジア系英字新聞 10 紙の集合体)



AFP 通信 (フランス) の、約 150 年前から今日までの画像・映像を中心としたデータベース。画像データは約 800 万枚収蔵しており、様々な学問・研究テーマに対応しての検索が可能。

※初めて利用する方は、ユーザー登録が必要です。ユーザー ID は大学のメールアドレスのみ使用可。

# 「みんなが学べる 図書館に！」

連載第3回（最終回）

CETL

山崎めぐみ 準教授



近年、書籍や学術誌のデジタル化に伴い図書館は無くなるのではないか、という話題を耳にします。もし、図書館の役割が単に「本を置いておくところ」であればそうかもしれません。しかし、本当にそうでしょうか？ そうであれば、図書館のスタッフは「本の在りかを教えてくれる人」でしょうか？ 私は、図書館は本の

置き場以上で、図書館スタッフは本の在りかを教えてくれる人以上の役割を担っていると思っています。

図書館はいろいろなことが学べる場所です。いろいろな人が学びたいことを学ぶために、本もあれば、視聴覚資料もある、電子書籍・雑誌もあります。ただ、図書館にやってくる人たちが自分の学びたいものに適切な情報・資料を分かってやってくるわけではありません。「こんなことを知りたい・学びたいけれど、どんな情報・資料があるのか」わからない人もいます。そんな時、質問できる人がいると、より来やすい場所になります。つまり、図書館スタッフは、情報のコンシェルジュのよう

な役割を担うことができるのです。また、ある程度の知識がある人でも、よりよい情報・資料をどのようにしたら探すことができるか、アドバイスをもらえれば新たな学びを発見できるでしょう。

それでは、どのような図書館スタッフが学びを提供できるのでしょうか？ これは私の考えですが、図書館スタッフがすでにおこなっているレファレンスインタビューだと思うのです。そもそもレファレンスインタビューは質問者が本当に求めていることをきちんと把握するためにおこなうものです。同時に、私たちは質問されることで、自分の意識が明確になります。自分が何を知りたいのか、求めているのかがはっきりとします。さらに、スタッフの方と一緒に情報・資料を探す・絞り込んでいくうちに、そのやり方も身につきますし、どのような情報が存在す



るのか気づきます。

創価大学の図書館にはさまざまなジャンルの情報が存在します。学生の皆さんには、創価大学が持つ豊富なリソースをぜひ活用してもらいたいと思います。全てを覚えることは無理ですし、その量も膨大です。是非、図書館のスタッフの方と新しい学びの発見をしてみてください。

今回が最後となりますが、学生の皆さん、これからも是非、図書館を活用してください。

## 山崎めぐみ先生 略歴

- 1991年 玉川大学 文学部教育学科 初等教育専攻 学士号
- 1995年 ミネソタ大学 International Development Education 専攻 修士号
- 2002年 ミネソタ大学 Comparative International Development Education 専攻 博士号
- 1995年 ミネソタ大学 College of Education and Human Development アカデミックアドバイザー
- 1998年 ミネソタ大学 General College アカデミックアドバイザー、キャリアプラニング / フレッシュマンセミナー担当
- 2004年 メトロポリタン州立大学 Interdisciplinary Studies 准教授
- 2010年 創価大学 学士課程教育機構 准教授

